**「原発ゼロ」調布行動 ニュース　２０２３年３月１２日**

-------------------------------------------------------------------

**調布市民のみなさん**

　このニュースは、毎月１１日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を

交流するものです。今日は、フクシマ原発事故から「満１２年」という節目を迎えた

３月１１日（土）の「第１２３回行動」についての報告と、満１２年１か月となる４

月１１日（火）に行なう「第１２４回行動」のご案内をお届けします。　**（編集者）**

**事故から満１２年の厳粛な節目に**

**原発積極活用・軍事優先の岸田内閣への怒り高く**

**８８人が第１２３回「原発ゼロ」調布行動**

**建物, 人, 道路, 屋外 が含まれている画像

自動的に生成された説明**

　今回の司会・進行は「調布狛江合唱団」有志のみなさん。司会は小林優さん、いつ

ものようにマイク・機材などの準備を引き受けている鈴木勝雄さんが進行（スピーチ

の調整）も行ない、記録は嶋田 紅さん、写真は鈴木彰が受け持ちました。（編集部）

　　　　　✕　　　　　　　　✕　　　　　　　　✕

　社協のバザーや献血の車等が広場の大半を使っている上に、市が主催する「東日本

大震災慰霊祭」もあり、今回の「原発ゼロ」調布行動は、いつもとは異なるグリーン

ホール外階段近くで行ないました。

　「福島を忘れない」の横断幕、調布行動の２本ののぼり、「声を上げよう 東海第二

原発はいらない」の横断幕、「原発ゼロ」、「原発のない未来へ」のプラカードなど

思い思いのグッズを掲げた参加者は、８８人におよびました。

屋外, 人, 建物, 道路 が含まれている画像

自動的に生成された説明　屋外, 人, 建物, 道路 が含まれている画像

自動的に生成された説明　人, 屋外, 道路, 男 が含まれている画像

自動的に生成された説明

　◆　司会の小林さんが開会を宣言し、出前演奏班「東北人」とバンドグループ「玉

手箱」の歌で開始。

　♪たんぽぽ

　♪群青

　36000人も、いまだにふるさとに帰れない人がいる。

　♪ふるさとを汚したのは誰だ

歩道の上に座っている男性

低い精度で自動的に生成された説明　人, 屋外, 道路, 持つ が含まれている画像

自動的に生成された説明　屋外, 建物, 人, 女性 が含まれている画像

自動的に生成された説明

　◆　大井やすこさん（柴崎）　　　いわき市小名浜にある、いわき放射能市民測定

室「たらちね」は、子どもたちの放射能による健康被害を心配するお母さんたちの願

いを込めて2011年11月に開所した。この会場でも、たらちねへのカンパを何回とな

くお願いしてきた。そのたらちねから先日送られてきた活動報告書に、とても気にな

る箇所があった。

　福島イノベーションコースト構想などの計画がある。その教育・人材育成の項目の

中に、トップリーダーの育成として浜通りの数ある高校の中で3校が指定されている。

子どもたちを巻き込んで、企業と国に都合のいい、期待される高校生を育成しようと

している。行政が教育にタッチしようとするのは学術会議の問題と同じ構図。グリー

ントランスフォーメーションとかロボットテストフィールドとかイノベーションコー

スト構想とか、やたらに和製英語を使っているが、原発事故の被災者と犠牲者、そし

て被災地を狡猾に利用した構想。国民を騙そうとしていることがみえる。それを、た

らちねが危惧している。

　◆　二見真由美さん（深大寺）　　昨年亡くなられた相馬市出身の詩人、若松丈太

郎さんの詩の朗読。「今、求められていること」

　◆　菊池公子さん  (深大寺)　　　原発をなくす全国連絡会が福島第一原発事故から

12年を迎えるのを前に3/4に、日比谷野外音楽堂で開いた「福島を忘れない   原発推

進をゆるすな   3・4原発ゼロ集会」についての新聞記事の読み上げ。各地から5000

人が参加した。岸田政権の原発回帰への大転換は、事故の教訓、被災者を踏みにじる

もの。原発ゼロこそ福島原発事故の最大の教訓。国の政策を変えるために声をあげ、

行動していく。以前と比べて参加者が少なくなっていることに危機感。福島は終わっ

ていない。声を上げ続けよう。

屋外, 人, 男, 持つ が含まれている画像

自動的に生成された説明　人, 屋外, 男, 持つ が含まれている画像

自動的に生成された説明　屋外, 人, 道路, 建物 が含まれている画像

自動的に生成された説明

　◆　蔵野武さん(年金者組合)　　　2013年に 小泉元首相が、「明日の政治のため

に」と題して講演したのを聞いた。90分全て原発の話だった。3つの内容。1つ目。

原発は、安全でコストが安いと信じていたが間違いだった。チェルノブイリの事故、

スリーマイル島での 事故があった。一刻も早く原発は、やめよう。2つ目。再生可

能エネルキーの比重を高めよう。原発が全て止まっていても電気は足りている。3つ

目。今ある原発の廃炉の問題。戦争直後の大混乱、その後の円高、オイルショックを

乗りこえてきた。何とか叡知を集めて廃炉にとりくもう。

　在任中に言ってほしかった、ちょっと遅かったという気持ちはあるが、今からでも

原発は作るな、売るな、動かすな。

　年金者組合からのお知らせ　　3/30、6/2、7/27と３回かけて丸山重威さんを講師

に「いま起きている軍拡と政治」の学習会を行う。奮って参加を。

　◆　沼倉潤さん（多摩市）　　首都圏ネットワーク一斉行動が、いまこの集会も含

めて全国82カ所でいっせいに行われている。東海原発はいらない。今日も、午後抗

議行動を予定している。女川（おながわ）原発でも事故が起きている。規制委を通っ

た原発でも、事故が起きている。原因がわからないものもある。高浜原発では、ケー

ブルの接触不良で制御棒が１本、誤作動を起こしてショートした。ケーブルの不具合

は建設当時からあったとされている。今後も事故が起きる可能性は大きい。これが原

発の恐ろしさだ。

　岸田内閣は、原子力基本法という原子力の憲法ともいえる法律＝公開が原則のもの

を、将来にわたって原発を推進するために「閣議決定」で変えようとしている。周り

の方にその事実を伝えてほしい。法案を通してはいけない。統一地方選挙で、原発推

進、軍拡進めようとする人を議会に送るな。東海第二原発を止めるためにみんなで行

動しよう。みんなが頑張れば止められる。

　縦断幕「原発が原爆になるおそろしさ」を持っての訴え。

　◆　石川康子さん（布田、市民の願い実現！調布大集会実行委員長）　　市議選に

向けての大事な集会を４月１日に、この場所で行なう。大軍拡と原発を推進する岸田

政治のもとで、戦争の足音が聞こえている。閣議決定でどんどん決めている。

　４月の市議選は「岸田ノー」を突きつけなくてはならない選挙だ。真に民意を反映

したものにすることが必要。命が大事、物価高反対、原発反対の声を、願いを、あげ

ていこう。4/1に調布駅前広場で集まりましょう。

　もう1つピンクのチラシ。今の寝ぼけた議会を変えていくため、新人候補の意見を

聞く会を行なう。しっかり代弁してくれる人を見極めよう。  4/2 市民プラザあくろす

ホールで行なう。市議選の投票率をあげよう。

帽子をかぶって歩道に立っている男性

自動的に生成された説明　歩道を歩いている人たち

中程度の精度で自動的に生成された説明　人, 屋外, 道路, ストリート が含まれている画像

自動的に生成された説明

　◆　鈴木彰さん（多摩川）　　　フクシマ原発事故から12年。県の内外に避難しな

ければならなかった２６万人の被害者は、いのちと暮らしを脅かされてきた。事故当

時の民主党政権とともに避難者救済等に努力を傾けた時期を経て、1年8ヶ月後の11

月11日に、全国での運動の高まりに呼応して調布駅前に集まった８０人が、この「原

発ゼロ」調布行動を開始した。３か月後に第２回、それ以来、ずっと継続して１日も

休まず続けてきた行動は、全国のみなさんとともに大きな成果をつくってきた。いま

や「原発ゼロ」は、党派をこえて社会の常識になっている。世界でも「核兵器禁止条

約」とともに「脱原発」は大きな流れとなっている。

　このことをお互いの確信にしながら今後も行動していこう。岸田内閣はいま、政権

維持、大企業の利益維持のため、強権政治を押しつけてきているが、これは「狂気の

沙汰」であり、耳も目も国民や世界の流れに向けていない。このムリは最終的には通

るものではないが、その過程で押し付けられる犠牲は小さくない。強権発動を許して

はならない。問答無用に原発再稼働を推進しようとする岸田内閣。大軍拡、大増税路

線をストップさせることを、１２年の節目で約束しあいたい。

　4/1市民大集会と4/2新人候補に聞く会を成功させ、その上で次回の124回「原発

ゼロ」調布行動を迎えよう。世論を変える。政治の流れを動かしていく、そいう決意

を込めて、今日の行動の締めくくりの挨拶とする。

　◆　♪約束のうた

　　　♪青い空は

　◆　記念撮影（トップ写真参照）

**13年目の第１回､新たな気持ちで**

**第１２４回「原発ゼロ」調布行動**

**日時：２０２３年４月１１日(火)**

**１０時半～１１時半　於：調布駅前**

　次回は４月１１日。　福島原発事故から１３年目の第１回、私たちの「調布

行動」としては第１２４回目の行動です。４月の企画・進行・司会は、今回に

続けて「調狛合掌団有志」のみなさんが引き受けてくれます。

**参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書**

**いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言っ**

**てやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くて**

**もいいから「ひとこと」を！　と願っています。**

**準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にい**

**ただけば、このメールでみなさんに伝えます。**

＊コロナ・ウイルスへの感染防止の対策をこらして（体調を崩された方は勇

気をもって「自宅待機」を）ご参加ください。

　＊小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動

に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

　なお、３月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそ

はというグループはどうぞ名乗り出てください。

　１２５～１２６回（５～６月）　　　　　　　　　学習サークルアネモネ

　１２７～１２８回（７～８月）　　　　　　　　　年金者組合